

「三宮市長が語る、北本の魅力と未来」意見交換会の主な内容

【日 時】 令和2年10月24日 午前9時30分～午前11時00分

【場 所】 北本市役所1階庁舎ホール

【テーマ】 三宮市長が語る、北本の魅力と未来

【参加者】 北本市民の方（24人）

1 公営墓地について

質問 公営墓地を設置してほしい。

応答 現段階では、公営の墓地について整備する計画はございませんが、他団体の状況を踏まえ、引き続き調査研究をしております。（令和元年9月市議会一般質問市民経済部長答弁）

2 デーノタメ遺跡について

質問 三宮市長の公約のなかに「デーノタメ遺跡の国史跡化」があるが、文化財保護職員を採用する話や、その他デーノタメ遺跡に関する状況はどうなっているか。

応答 「一般職員（文化財保護）」を募集しましたが、採用には至りませんでした。また、デーノタメ遺跡の国史跡化については、国へ申請する準備を進めている状況でございます。

3 歴史資料館について

質問 北本の歴史資料館をつくってほしい。

応答 資料館は既存の建物を活かして整備する方向で進めています。

4 駅東口について

質問 三宮市長の公約のなかに「駅東口広場の利便性向上のため歩道部分の屋根かけ」があるが、ロータリーでは以前と比べ、バスの発着が多くなっている。事故を防ぐために、ゆっくりと流れる大型バスの運行を確立してほしい。また、人の流れの安心安全のために、歩道、インターロッキング、グリーン帯、横断歩道の新設を検討してほしい。

応答 駅東口通りの全体のゾーニングおよびワコーレ北本のバス発着口に屋根設置のための予算について検討しています。

5 講演内容と市のシティプロモーションについて

質問 市はシティプロモーションを実施しているが、市長が本日講演された内容と

シティプロモーションの取組はどうつながるのか教えてほしい。

応答 先日、市は株式会社モンベルと「まちづくり推進に関する協定」を締結しました。株式会社モンベルは、全国各地で北本のように起伏のあるまちで様々な仕掛けをしており、今回の協定によって、北本の若者にとってさらに魅力あるまちになると期待をしております。さらに、環境省からは、北本市を環境モデル都市にしたいという話もあり、社会実験として、Eサイクル・Eステーションを設置することを検討しています。市では、少子高齢化の現状を踏まえ、20～40代前半の年齢層に向けてシティプロモーションを実施しております。本日講演しましたように「起伏をいかに残していくか」というまちづくりの方針が、若者を惹きつけるまちになると考えています。

6 緑の保全について

質問 北本市は、魅せ方が足りないのではないかと考えている。北本の魅力が詰まったルートをつくってはどうか。また、市の景観や緑を考える条例をつくっていただきたい。お金のかからない緑の増やし方を模索し、北本をさらに「緑のまち」にしてほしい。

応答 緑は北本の強みであり、皆さまが住みやすい、緑豊かなまちをつくっていきたいと考えております。雑木林が減少しているから状況から、里山条例等を制定すべきとも思いますが、まずは、社会的弱者の方が住みやすい福祉のまちづくりに取り組みたいと考えています。

7 石戸城について

質問 石戸城について詳しく知りたい。

応答 一説によると、1450年代後半に築城されており、北足立地区最大の平山城といわれています。北条氏に攻められ落城した後、秀吉の小田原攻めの際に廃城しているため、約200年程度続いたのではないかと推測されます。石戸城の曲輪の外に位置するお茶屋御殿は、徳川家康から家光の三代にわたって鷹狩をした際の休憩所といわれており、このような跡地の保存も進めていきたいと考えております。

8 市制50周年について

質問 本日の講演内容を来年の市制50周年で活かしていただきたい。

応答 市では、50周年に向け、様々なイベントを考えております。本日の講演内容に関連したものとしては、市の里山を代表する花を「市の野草」にすることや、北本の特色となっている虫を「市の昆虫」にするアイデアを検討しています。